

臨時
増刊号
No.12

福井市安居小学校 学校通信

安居っ子だより

令和2年 5月 1日 No.13

〒918-8076 福井県福井市本堂町 4-12
 (市外局番 0776)Tel: 37-1004 Fax:37-1582
 E-mail: ago-e@fukui-city.ed.jp



No.7970.567



☆バランスよい食事と、
☆十分な睡眠を。

八十八夜



5月になりました。大変な新年度の始まりから1ヶ月が経ち、早くも新しい月が始まります。1年の中でも過ごしやすい季節となってきましたね。

今年は5月1日が、八十八夜に当たります。立春から数えて88日目です。このころは昔から「八十八夜の別れ霜」と言われて、ここまでくると決して霜が降りることはないという保証がつけられた日です。従って農家では「種まき」、「蚕のはきたて」(卵から孵化(ふか)したばかりの蚕を、羽帚(はぼうぎ)で掃いて集め、蚕を飼う場所へ移すこと)、「茶摘み」などが一斉に開始されました。

しかし、この保証は時には外れることがあるようです。「八十八夜の忘れ霜」と言っ
て、まさかと思っているときに急に気温が下がり、忘れかけていた霜が降り、農作物に被害が出ることもあったようです。

また、八十八夜は新茶の季節として広く知られており、八十八夜の深夜に、冷気の降り注いだ新芽を摘んで作った新茶は、ことのほか味や香りに優れ、しかも不老長寿の妙薬として珍重されてきました。ビタミンなどの栄養価も高い飲み物です。また、「夏も近づく八十八夜・・・」の文部省唱歌も忘れずに歌い継いでいきたいものですね。

「茶つみ」
 夏も近づく八十八夜
 野にも山にも若葉が茂る
 あれに見えるは茶摘みじゃないか
 あかねだすきに菅の笠
 日和つづきの今日このごろを
 心のどかに摘みつつ歌ふ
 摘めよ摘め摘め摘まねばならぬ
 摘まにゃ日本の茶にならぬ

ちょこっと アウトドア気分



さんぽのついでに、通学路の点検

さんぽシリーズは3回目ですが、今回は、「登下校路の安全点検をしましょう」というものです。なかなかゆっくりと通学路を親子で歩くことはないので、いい機会です。

中心は「安全確認」なのですが、一緒におしゃべりしながら歩いて、子供が普段の登下校でどんなことに興味を持つのか確かめてみましょう。子供目線は、意外な発見があるものです。

＜安全確認のポイント＞

- ◇どこを通るのか
 - ◇路面等の破損
 - ◇交通安全で注意するところ
 - ◇建物や塀で危ないところ
 - ◇用水路や川で危険なところ
 - ◇クマが出そうなところ
 - ◇不審者が出そうなところ
 - ◇「かけこみ110番の家」の場所
 - ◇自然災害が起こりそうなところ
 - ◇各地点で地震が起きたらどうする(家?or 学校?)
- 大人が歩いて気づいたことをアドバイスしたり、家族で約束事を決めておいたりするといいですね。



学校始業に向けて

学校では、今の状況で学校が始まる事を想定して、様々な授業の準備や感染予防の対策を行っています。

今回は「咳エチケット」です。学校では登校時からマスクを着用します。日中は、昼食時と運動などで十分な距離が保てる時以外、ほとんど1日中マスクを着用します。今後、学校にも子供用の布マスクが2枚配付される予定ですが、毎日清潔なものを着用することが必要ですので、市販のものが手に入りにくい状況の中、今のうちに手作り等のマスクを備えるなどして、早めの対応準備をお願いいたします。

※学校では、現在通学路の危険個所調査を行っています。ホームページの「通学路の危険個所の調査のお願い」をご覧ください。お気づきのことがありましたら、ファックス(37-1582)やメール(ago-e@fukui-city.ed.jp)でお知らせください。